計画（会合）名称　　スチューデントチャプター全国大会

開催日時	西暦　2024 年 8 月 30 日 ～ 8 月 31 日
開催場所	千葉大学　西千葉キャンパス　松韻会館
参加者	22名（内応用物理会員　14名、オンライン参加　8名）
実施組織	有機デバイス・物性SC
開催目的	全国各地に点在する応用物理学会スチューデントチャプターから各数人ほどのメンバーを招集して全国大会を実施する．メンバーが一度に会することにより若手同士の交流を深め，ネットワーク形成の機会とすることを目的とした．
開催内容	1日目：招待講演（プレゼン講座、高橋佑磨先生）、参加者のポスター発表、各SCの活動内容紹介、懇親会 2日目：研究室見学
開催結果(成果)	今回の全国大会は台風10号の接近のため、急遽ハイブリット開催となった。名古屋より南の大学の学生は、オンラインでの参加となった。現地は、早稲田大学SC、千葉大学SC、有機デバイス・物性SCの学生のみの参加となった。また，本全国大会後に実施アンケートをとり事後評価も行った（下記，各項目についても各評価を集計した）．全体を通しての評価点数は，10点満点で評価をもらい平均点が8.5点となり好評な会であったと言える．（回答者15人） **【1日目】** ・招待講演： 日頃の資料や文章の作成に役立つような内容（フォントの選び方、資料の見やすさのための工夫など）について、千葉大学理学部の高橋佑磨先生ご講演をいただいた。高橋先生がセッションごとに質問時間を作ってくれ、その度に2-3人から質問が出た。学年が上がるにつれて、資料や文章執筆が増えるため、日頃の悩みを高橋先生が解決してくれているようであった。（事後評価（5点満点評価):平均4.7点） ・参加者のポスター発表： 参加者は応用物理学会所属であるものの、研究分野はバラバラである。しかし参加者の皆さんが説明上手で、各発表者に対して、必ず1人以上は質問が出た。予定していた時間が超過するほど、議論が活発になった。（事後評価（5点満点評価):平均4.2点） ・各SCの活動内容紹介： お互いの活動内容を知ることができ、各SCで参考にできそうという感想をいただいた。 ・懇親会 同じ松韻会館にて、飲食を準備して行なった。各SC間でお話をすることができた。さらに、現地にパーテーションを用意して、オンラインポスター発表中に終わりきらなかった発表を懇親会中に行った。松韻会館のレンタル時間ギリギリまで活発な議論が繰り広げられた。（事後評価（5点満点評価):平均4.8点） **【2日目】** 千葉大学の2つの研究室を回った。質問も多く出て、交流を深めることができた。（事後評価（5点満点評価):平均4.7点）．また事後アンケートでは次回以降は産総研，東大物性研，NTT研究所への見学を希望する声も挙がった．

オンラインポスター発表の様子

全国大会に参加してくださった皆さん